

「風発計画地で感じる鳥たちの素晴らしき秋の渡り」探鳥会

鉢伏山（はちぶせやま）は敦賀市と南越前町との境にある標高761.8mの山で、鉢を伏せたような丸みのある山容から名付けられました。秋の渡りの時期、昼に渡る猛禽類や夜に渡ってきた小鳥達との出会いを楽しみましょう（担当：大坂英樹 丹南ブロック）。

渡り鳥

- ・ **渡り**：季節的な往復移動で数百～数万kmも繁殖地と越冬地を毎年往復すること。東アジア・オーストラリア地域フライウェイを渡る5千万羽の水鳥は絶滅危惧種が32種、渡りをするスズメ目170種のうち56種が減少。
- ・ **渡りの経路**：繁殖地、中継点、越冬地に固執する種が多く、小鳥の幼鳥は親に遅れて渡るものが多い（遺伝的渡り）。昼間渡るタカ・ヒヨドリは特定経路で渡り、夜間の渡り鳥は日本全国を広く利用するが海を最短で渡る小鳥も多い（山形県、新潟県、若狭湾）。
- ・ について夜に渡る高さは200～500m（秋）、300～600m（春）が一番多く2km超を渡るものもいる。小鳥は単独で渡るが早朝は群れになる（アトリ、ヒヨドリ、ツバメ類、カワラヒワなど）。夜渡るのは被食を避けるほか、大気が安定していることが要因（田悟2020）。渡り直前に体脂肪を蓄え、温帯では気温、照度、湿度で渡りの衝動が起こるが（オオジュリン、カシラダカ）、越冬地の熱帯では雨で春の渡りの衝動が起こるらしい（中村司2012）。
- ・ **脅威**：熱帯雨林・湿地の消失、密猟、化学物質汚染（農薬）、風力発電施設（澤祐介2021）

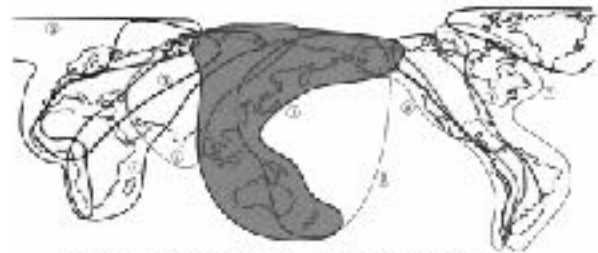


図16 渡りの経路（繁殖地・中継点・越冬地）
① アトリ・ヒヨドリ・ツバメ類・カワラヒワなど
② オオジュリン・カシラダカ
③ アトリ・ヒヨドリ・ツバメ類・カワラヒワなど
④ オオジュリン・カシラダカ
⑤ アトリ・ヒヨドリ・ツバメ類・カワラヒワなど
⑥ オオジュリン・カシラダカ
⑦ アトリ・ヒヨドリ・ツバメ類・カワラヒワなど
⑧ オオジュリン・カシラダカ
⑨ アトリ・ヒヨドリ・ツバメ類・カワラヒワなど
⑩ オオジュリン・カシラダカ
⑪ アトリ・ヒヨドリ・ツバメ類・カワラヒワなど
⑫ オオジュリン・カシラダカ
⑬ アトリ・ヒヨドリ・ツバメ類・カワラヒワなど
⑭ オオジュリン・カシラダカ
⑮ アトリ・ヒヨドリ・ツバメ類・カワラヒワなど
⑯ オオジュリン・カシラダカ
⑰ アトリ・ヒヨドリ・ツバメ類・カワラヒワなど
⑱ オオジュリン・カシラダカ
⑲ アトリ・ヒヨドリ・ツバメ類・カワラヒワなど
⑳ オオジュリン・カシラダカ
㉑ アトリ・ヒヨドリ・ツバメ類・カワラヒワなど
㉒ オオジュリン・カシラダカ
㉓ アトリ・ヒヨドリ・ツバメ類・カワラヒワなど
㉔ オオジュリン・カシラダカ
㉕ アトリ・ヒヨドリ・ツバメ類・カワラヒワなど
㉖ オオジュリン・カシラダカ
㉗ アトリ・ヒヨドリ・ツバメ類・カワラヒワなど
㉘ オオジュリン・カシラダカ
㉙ アトリ・ヒヨドリ・ツバメ類・カワラヒワなど
㉚ オオジュリン・カシラダカ
㉛ アトリ・ヒヨドリ・ツバメ類・カワラヒワなど
㉜ オオジュリン・カシラダカ
㉝ アトリ・ヒヨドリ・ツバメ類・カワラヒワなど
㉞ オオジュリン・カシラダカ
㉟ アトリ・ヒヨドリ・ツバメ類・カワラヒワなど
㊱ オオジュリン・カシラダカ
㊲ アトリ・ヒヨドリ・ツバメ類・カワラヒワなど
㊳ オオジュリン・カシラダカ
㊴ アトリ・ヒヨドリ・ツバメ類・カワラヒワなど
㊵ オオジュリン・カシラダカ
㊶ アトリ・ヒヨドリ・ツバメ類・カワラヒワなど
㊷ オオジュリン・カシラダカ
㊸ アトリ・ヒヨドリ・ツバメ類・カワラヒワなど
㊹ オオジュリン・カシラダカ
㊺ アトリ・ヒヨドリ・ツバメ類・カワラヒワなど
㊻ オオジュリン・カシラダカ
㊼ アトリ・ヒヨドリ・ツバメ類・カワラヒワなど
㊽ オオジュリン・カシラダカ
㊾ アトリ・ヒヨドリ・ツバメ類・カワラヒワなど
㊿ オオジュリン・カシラダカ

見られそうな鳥リスト

（さて今年は何種類見つけられるでしょうか）

- | | | |
|------------|-----------|----------|
| ・ アマツバメ | ・ ハヤブサ | ・ トラツグミ |
| ・ ハリオアマツバメ | ・ モズ | ・ クロツグミ |
| ・ キジバト | ・ カケス | ・ エゾビタキ |
| ・ アオバト | ・ ハシボソガラス | ・ サメビタキ |
| ・ アオゲラ | ・ ハシブトガラス | ・ コサメビタキ |
| ・ アカゲラ | ・ ヒガラ | ・ ジョウビタキ |
| ・ オオアカゲラ | ・ ヤマガラ | ・ ホオジロ |
| ・ コゲラ | ・ シジュウカラ | ・ ノビタキ |
| ・ ミサゴ | ・ ヒヨドリ | ・ キセキレイ |
| ・ ハチクマ | ・ ツバメ | ・ ノジコ |
| ・ クマタカ | ・ イワツバメ | ・ ヤマドリ |
| ・ ツミ | ・ コシアカツバメ | |
| ・ ハイタカ | ・ ウグイス | |
| ・ オオタカ | ・ エナガ | |
| ・ トビ | ・ メジロ | |
| ・ サシバ | ・ ミソサザイ | |

【今日のスケジュール】

08:00～08:30 集合、レクチャー

08:30～11:40頃 移動、探鳥会

11:40～12:00 鳥合わせ、解散

風車計画について

当地は大規模風力発電が計画され（図1）、クマタカなどの猛禽類の生息地かつ、渡り鳥の重要なルートです。またノジコなどの渡りの中継地である中池見湿地（ラムサール登録地）に近く、風車が障壁となって移動の回避、衝突など野鳥に及ぼす累計的な悪影響が懸念されています。鳥は50km渡り距離が伸びると体重が1%減少し、渡り経路上の全風発が渡りに影響します(Masden 2009)。

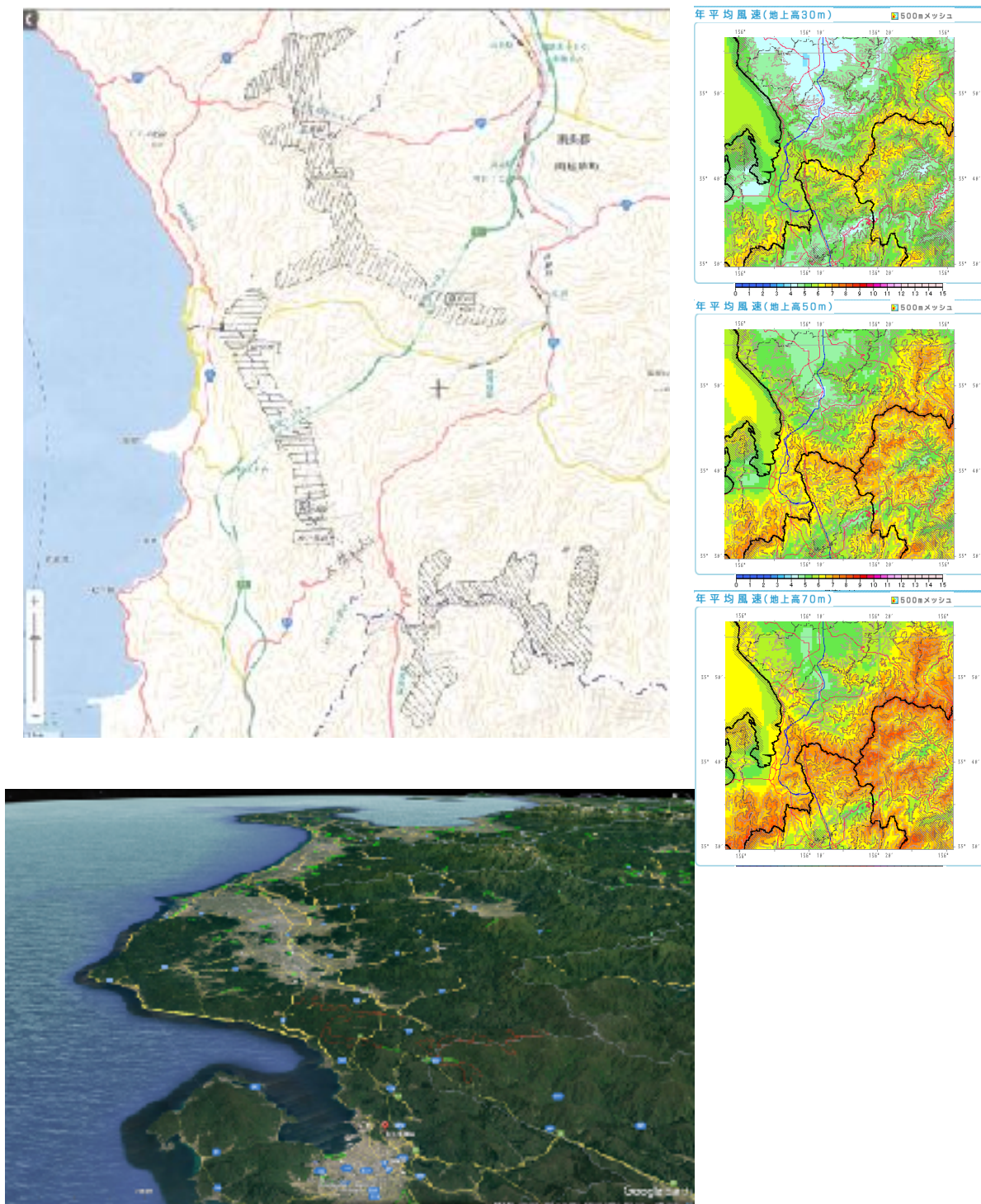


図2 中池見から北側を見た鳥瞰図（赤線が計画地）

探鳥会アンケート

探鳥会にご参加いただきありがとうございました。

きょうの探鳥会はいかがでしたか？今後の参考のために以下の問にお答え下さい。

1 あなたご自身について教えてください。（いずれかをお選び下さい）

＜年齢＞・10歳未満 ・10代 ・20代 ・30代 ・40代 ・50代 ・60代 ・70歳以上

＜会員＞・野鳥の会の会員です ・野鳥の会の会員ではありません

＜参加＞・おひとりで・ご家族と・ご親戚の方と・ご友人と

2 この探鳥会を知ったのは？

・野鳥の会ホームページ ・会報「つぐみ」 ・野鳥の会行事一覧表 ・地域ケーブルテレビ
・新聞の催事案内 ・その他（ ）

3 参加しての感想は

・たいへんよかった ・よかった ・あまりよくなかった ・よくなかった

4 その理由を教えてください。

5 きょう見ること（または、聞くこと）ができて「よかった」と思う野鳥は何ですか？
（いくつでも可）

6 その理由を教えてください。

7 そのほか、ご意見ご感想があればお聞かせ下さい

＊ご記入ありがとうございました。会員登録や、会への直接の質問などがありましたら、
閉会后スタッフにお声がけをおねがいします。